

補助金評価シート

区分	重点・(重点以外)	補助根拠	法令補助・(その他補助)	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>集団資源回収保管倉庫購入等補助金</b> 市民団体が行う集団資源回収活動に用いる資源物保管倉庫の購入、新築、増改築及び改修に対して補助金を交付するもの						
款・項・目	衛生費 清掃費 清掃総務費						
所属等	環境部 廃棄物対策課 リサイクル推進係 電話025-226-1407						

年 度		平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	1,200	1,200	1,200
	決算(千円)	898	1,068	1,200
補 助 率		1/2	1/2	1/2
目 標		市民団体が行う集団資源回収活動に用いる資源物保管倉庫の購入、新築、増改築及び改修に必要な費用の一部を補助することで、集団資源回収登録団体の古紙類を常時保管可能とすることにより古紙の再資源化を促進する <目標が数値でない場合の評価方法> 古紙類を常時保管可能な保管庫を設置することにより、収集日以外に古紙類を排出できるなど排出機会を確保できたか		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	集団資源回収登録団体11団体に対して、資源物保管倉庫の購入等補助を行うことで、古紙類の排出機会を確保し、再資源化を促進することができた。	集団資源回収登録団体13団体に対して、資源物保管倉庫の購入等補助を行うことで、古紙類の排出機会を確保し、再資源化を促進することができた。	集団資源回収登録団体6団体(R1年8月時点)に対して、資源物保管倉庫の購入等補助を行うことで、古紙類の排出機会を確保し、再資源化を促進することができた。
補助事業者による情報の公表		自治会総会報告・回覧板など		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 倉庫の改修に伴う補助等、軽微な申請で補助額が5万円未満となった場合でも事業の対象となるよう、補助額を2万円以上としている。 <g～hにおける取組> 今後は、年度ごとの補助実績の状況を踏まえつつ、適正な数値目標を設けられるかどうか検討する。				
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 1～3年目にかけて補助団体数が特段減少することなく推移し、補助団体における古紙の再資源化を促進することができた。今後も引き続き、団体へ事業の周知を実施し、事業の利用を促していく。					